

# 十時半睡事件帖 おんな舟 白石一郎



<福岡・博多>

あらとまち  
荒戸町

すざきまち  
須崎町

かわばたまち  
川端町

ぼこさき  
筥崎

なかがわ  
那珂川

このしま  
能古島

くるめ  
久留米

やながわ  
柳川

<江戸>

あかさかまち  
赤坂田町

おもてでんまちよう  
表伝馬町

はなかわど  
花川戸

ふきやちよう  
葺屋町

かめざわりよう  
亀沢町

きたわりげすい  
北割下水

うみべだいくまち  
海辺大工町

ざいもくちよう  
材木町

いまがわちよう  
今川町

さがちよう  
佐賀町

はまぐりちよう  
蛤町

ふゆきちよう  
冬木町

あいかわちよう  
相川町

くろえちよう  
黒江町

やまもとちよう  
山本町

すざき  
洲崎

ぎょうとく  
行徳

とときはんすい いち えもん そうめつけ おりえ  
十時半睡 (一右衛門 江戸総目付) 一織江 (亡き妻)

やしちろう おくらぶぎよう きちたろう  
弥七郎 (息子 御蔵奉行) 一お夏 (妻)、吉太郎 (息子)

ぎはち ごすけ さいち  
儀八 (若党)、伍助 (若党)、左市 (下男)

江戸：お仙 (女中)、吉蔵 (お仙の伯父 船頭)

かたやまた えもん  
片山太右衛門 (お夏の父)、彦馬 (長男)

むらかみちゆう ぎ えもん なかむらかんべい  
村上 忠 左衛門 (安部流道場主)、中村勘平 (師範代)、勘太夫 (兄)

まつばらとうじゆうろう てらだかん ぎ えもん きしじん べ え  
松原藤十郎 (目付)、寺田勘左衛門 (目付)、岸仁兵衛 (目付)

くろだしゆぜん ぼるゆき  
黒田主膳治之 (藩主)

えいしやういん  
栄昌院 (江戸一橋家 藩主の生母)

くろだきさぶろう おそぼごよういん こうさかおりべ おそぼごよういん  
黒田喜三郎 (御側御用人)、神坂織部 (御側御用人)

くろださん ぎ えもん  
黒田三左衛門 (大老 筆頭家老)

の せら げ き つきなりさぶろうたゆう たちばなへい ぎ えもん  
野村外記 (家老)、月成三郎太夫 (中老)、立花平左衛門 (中老)

くろだきち えもん  
黒田吉右衛門 (江戸首席家老)

にのみやさんだゆう あかしかく べ え  
二宮三太夫 (江戸目付)、明石角兵衛 (江戸目付)

ほうせんいん しゆげんしか はんによぼう  
宝仙院 (修験者) = 般若坊

うえだひこべ え おくらぶぎよう  
上田彦兵衛 (江戸御蔵奉行)

ますだん べ え かみせんどう ほそいもんど なかせんどう ゆり  
益田金兵衛 (上船頭)、細井主水 (中船頭)、百合 (娘)

たみやしんくろう おふなてぐみこせんどう いさしち じんべ え  
田宮新九郎 (御船手組小船頭)、伊佐七 (船頭)、甚兵衛

たかぎつねたろう むそくぐみ お ち  
高木常太郎 (無足組御徒士)

たつ べ え ひこべ え たつきち ひこぞう たつ きぬ  
鬼の辰兵衛=彦兵衛、小鬼の辰吉=彦蔵 (息子)、鬼娘のお辰=お絹 (娘)

うめきち  
梅吉 (船大工)

なみ ぼたん おかみ ためきち こつとうや こせんどう つねきち  
お波 (小料理牡丹 女将)、為吉 (前夫の息子 骨董屋 古仙堂)、常吉 (板前)

きちじろう  
吉次郎 (砂糖問屋次男)

まち ろうそく たかおかへいま  
お町 (蠟燭問屋の娘) 一高岡兵馬 (御馬廻組)

とめきち  
留吉一おたか (女房)、おまち (娘)

おしま (花川戸小間物屋の娘)、およね (根岸百姓の娘)

おとら (根岸百姓の娘)、おきさ

ときえだたのも  
時枝頼母 (御家人)

すずきじんだゆう ろ すい やく れん じんべい  
鈴木甚大夫 (元江戸留守居役) 一お蓮 (妻)、甚平 (息子)

じんさぶろう み の きち  
甚三郎 (甚大夫の弟)、巳之吉 (お蓮の弟)